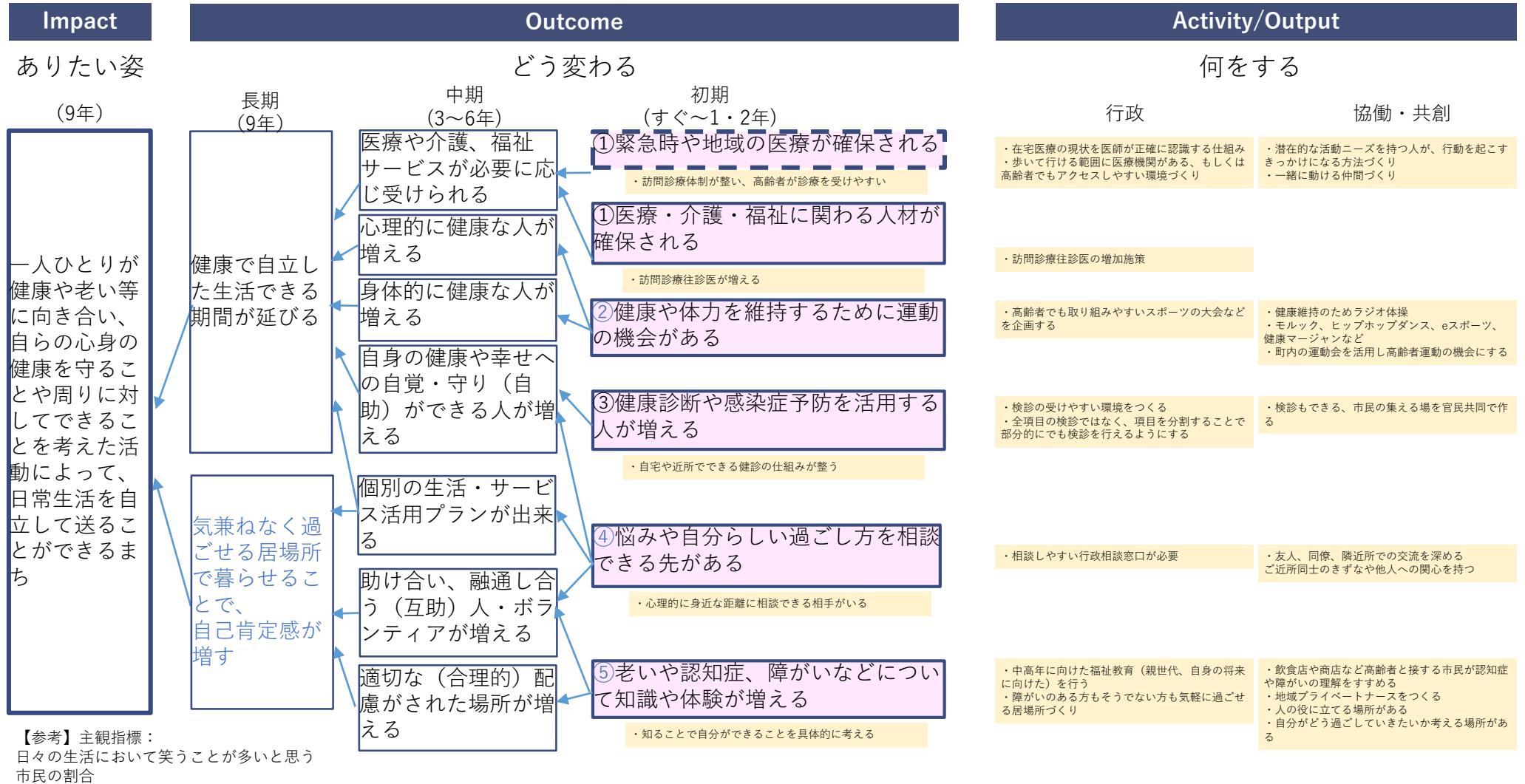


※青字は意見などを受けた修正



【参考】主観指標：  
日々の生活において笑うことが多いと思う市民の割合

### ワークショップの内容・ロジックモデルの変更点の概要

- ・アクティビティについては、在宅医療に対する医師数および医師の認識を改めることで地域医療の充実が図られることが議論された。
- ・健康診断について、すべての項目でなくても一部を近所の施設で実施することで、医療者側への負担も減るのではないかと議論がなされた。
- ・高齢化を迎えることをふまえ、高齢者介護の観点からも自身の健康管理の観点からも、若いころから福祉に対する学びの必要性が議論された。

